

鉾田町商工会青年部会報



第10号

発行/昭和62年6月
発行所/鉾田町青年部
部長 鬼沢保平
〒311-15
鉾田町大字鉾田2476番地
Tel. 0291-2-2246

びめい(微明)とは
引き締めようと思ふなら、
しばらく拡張させておくに
限る。弱めようと思ふなら、
しばらく与えておくに限る。
この道理を知る事を「微明」と
いう。
柔弱は剛強に勝つものな
のである。(老子より)

このまちに生まれ
このまちに育ち
このまちに生きる
このまち大好き

商業近代化への道

鉾田町商業近代化計画
報告書から一年

【学習会に学ぶ】

近代化計画策定に直接
携わった、堀越先生の
講演会から:

先頃行なわれた、青年部の
講演会において、商業近代化
計画報告書(以下、「報告書」と
略す)の策定に直接携わった、
堀越先生による「報告書」
についての説明から、我々、
商業に携わる者にとって、重
要な意味を持つ諸々の、提言
や計画のあらましを、商工会
員の皆様に紹介し、現在、着
々と実施化されつつある計画
の、概略を知るダイジェスト
とさせていただきます。

「報告書」では鉾田町の現
状として、大洗鹿島線の開通
・霞ヶ浦大橋の架橋、環状道
路の一部完成、等の影響。
モータリゼーションの進展、
中心商店街における駐車場・
舗道・公衆便所等、公共施設
の不足、商品構成の不備。等
々を挙げて、商業活動の停滞、
商業力の長期低落を憂えてい
る。



講師 堀越 義章 先生

7つの近代化の課題

「報告書」は鉾田の商業を
近代化し、停滞からの脱皮を
はかる為の方向づけとして、
問題を整理して、7つの課題
を提示している。

1、駐車場・駐輪場の設置
と安心して買物のできる道路
の整備

2、文化的施設・公園・イ
ベントのできる広場の整備

3、ワンストップショップ
ングのできる核となる店舗の
配置

4、歴史的背景、産業、教
育等の集積を勘案し鉾田町の
特色を生かした町づくり

5、買回品の充実をはじめ
として商品構成、価格等消費
者の需要に対応した店舗や商

3つの近代化
整備構想から
学ぶもの

「報告書」は前記7つの課
題の他に、中心市街地の活性
化と飛躍を図る為の、3つの
重要な課題をあげている。

1、土地区画整理事業等
による中心市街地の面整備(図
1-1)

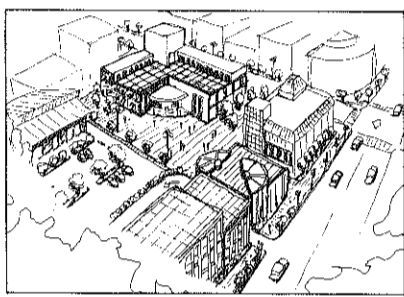


図-1 市街地改造の完成予想図

「道路、公園等の公共施設
の整備改善と土地の有効利用
を目的とし、地区全体を面的
に整備する。区画整理事業に
等々)

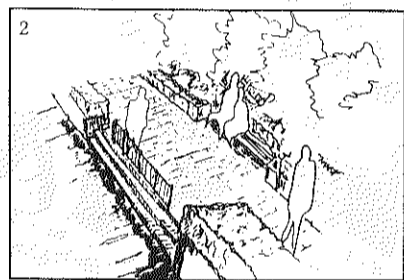


図-2

鉾田川整備案

(例として、橋上公園、つ
り場と散策路、河岸の街並み
と並木、水路沿いの遊歩道、
等々)

よる街路とその沿道の小規模
な地区の整備も可能。小売商
業店舗共同化事業は、参加企
業数5以上等各種の条件があ
るが、共同店舗化を図るうえ
で有効な事業手法である。な
お、助成を受ける為には、事
業協同組合の設立が必要であ
る。また、店舗の建設は、中
小企業高度化資金の融資を受
けることができる。

2、鉾田川を町民に親しめ
る場として、散策路等の整備
(図1-2)

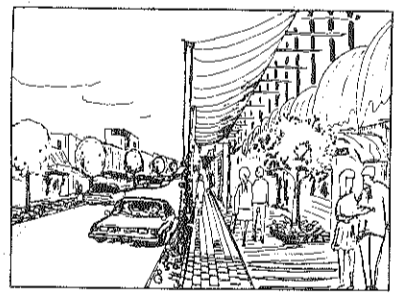


図-3 若者通り整備案

3、鹿島鉄道・鉾田駅と鉾
田第一高校と鉾田第二高校と
を結ぶ若者通りの整備(図1-
3)

部員募集

鉾田町商工会青年部では、広く
部員を募集しております。
後継者の方!
若手経営者の方!
君達の可能性を青年部で試して
みませんか。

昭和62年度青年部
新体制スタート!

若きリーダー鬼沢保平を中
心に、62年度の青年部が動き
出しました。新たな気持ちで、
部の一層の飛躍をめざします。
○部長 鬼沢保平
○副部長 菊地美博、荒野吉
生、土子勇一
○常任委員 渡辺佳夫、小沼
保夫、渡辺義信、矢口恵司、
松本茂雄
○会計 大橋俊哉、田口裕之



青年部の
あらまし

●豊かな住みよい
地域づくりをめざして
商工会青年部は、商工会の

明るい心を

鉾田町商工会事務局長
佐々木才二郎



「このあたりは、やがて努
力すれば明るい希望が実現
する」と己が心に言い聞か
せ関係ある人々を説得した
ことを思い出すのである。
私が商工会をみて、最も
切実に考えたのは、商工会
館の建設である。来客に席
を取られて「申し訳ないが、
どうぞこちらへ」と謝りな
がら仕事をしている職員を
見るにつけ、何とかせねば
と考えるのである。私も、
商工会館の規模については
こんな考えを持っている。
●会館の周囲に大きな駐

内部組織として商工会事業の
実践的活動体、又、側面的協
力体として活躍。現在、茨城
県商工会青年部連合会は、八
三部約三、五〇〇名の大きな
組織に成長、組織の内外にそ
の存在を高く評価されていま
す。

青年部とは

私達商工会青年部は青年経
営者と地域商工業の後継者を
中心に新しい地域づくりの原
動力となることを主眼として
組織され、青年の持つ清新に
して発らつたる創造力と行動
力を活かし、商工会に新風を
吹き込むとともに、地域商工
業の振興発展の先駆者となり、
あわせて社会一般の福祉の増
進に資することを目的として
おります。

活動の基本

- 未来を先取りする研修活動
● 問題意識をもった調査活動
● 地域共同体に寄与する実践
活動
● 同世代の各種団体、グルー
プを地域づくりの目標にむ
けて、意見を調整しその指
導的な役割
● 商工会の次代の後継者とし

鉾田町社会福祉大会
で表彰される

昨年十一月十九日中央公民
館において、第一回鉾田町社
会福祉大会が開かれ、席上鉾
田町商工会青年部は永年の功
績(青年祭におけるチャリテ
ィーオークションの寄付等)
により表彰されました。主催
は、社会福祉法人「鉾田町社
会福祉協議会」。



● 社会一般の福祉増進に関す
る活動
● 同じ地域で商工業を行う青
年同志の情報交換並びに親
睦事業

# 青年部活動報告'61

## 「地域振興事業から」

八十六年の夏を色どった「七夕まつり」は八月七日午後六時から九時まで銚田町商工会

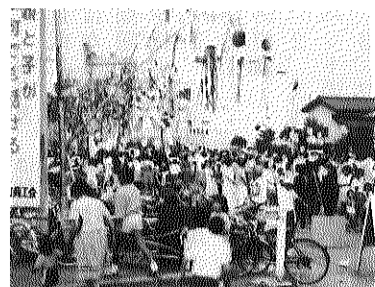


## 第一回ふるさとの七夕まつり

子供たちの願いが夜空にとどきますように!



本町商店会共賛のビッグダックスも大活躍



チビッコたちで、大にぎわい

看板を書いたり、竹ざおを切つて来てタンザクやかざり玉をつけたり、模擬店の商品や景品を揃えたりと一ヶ月にわたって準備に大わらわ。でもその甲斐あつてか、当日は二千人の子供達で大にぎわい。ヨーヨー・金魚すくい・綿あめ・氷ジュース・ガス風船などの模擬店が出店しましたが、どこも長い行列が出来るほどにぎわいでした。三時間と短い時間での祭りではありましたが、大変有意義な「七夕まつり」でした。

# 委員会活動報告

### まだまだ勉強

## 教育研修委員会

経営経 理及税制等に関する講演会、講習会による一般的・専門的な知識の向上をはかる教育。商業の発展をめざすよう先進地視察等による研修。この両方の面から各役員が社会人として、商業人としてより一層の向上をはかるよう事業を進めていく委員会です。今年度の主な事業は、親睦委員会と協力して行なった水原町商工会青年部(新潟県)との部活動交換会。銚田町商業近代化に関する講習会(堀越義章、売り上げ税の講習会、赤池 知保)等を行なっていました。



「僕は、緩斜面のインストラクター！」



「僕は、緩斜面のインストラクター！」



那須高原ハイキング

### 働く仲間

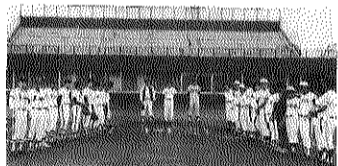
## 総合振興委員会

地域住民との交流を目的として、季節を通じて各種事業を行なっております。高山植物を観察しながら那須高原へのハイキング、近隣町村対抗ソフトボール大会、スキーバス(会津高校)などを行なっていました。

### 部の団結

## 対話親睦委員会

我々の委員会は、部員間の対話と親睦をはかり、部員各層、各年代相互の円滑なコミュニケーションの円滑な発展に寄与する為、教育研修委員会と合同での親睦研修旅行(水原・月岡方面)税務署との親睦野球、忘年会、各種懇親会等、いろいろの事業をおこないました。



親睦野球



水原町颯湖にて

## 広報委員会

部員に 対し各種事業及び活動の情報を伝える月刊「びめい」の発行。地域社会に対し青年部活動をアピールし、部活動の充実をはかるため広報誌、年刊「びめい」を発行。

# 部員紹介

番号	氏名	事業所名	番号	氏名	事業所名
一	青野正男	青野縫製	三〇	富田 稔	巴川電気工事
二	荒野吉生	荒野佐商店	三一	二重作惣司	丸加スズキ販売
三	石崎千明	洋食、ときわ	三二	中根一樹	中根鮮魚店
四	伊東光一	伊東時計店	三三	中山惣治	中山材木店
五	内田輝雄	内田木工所	三四	中山芳和	丸芳工務店
六	大橋俊哉	クリナーズおおはし	三五	永長和広	永長豆腐店
七	大和田裕之	大和田農機店	三六	根本将夫	みづぼ写真館
八	岡里剛治	白 栄 舎	三七	根本茂久	小堀電気商会
九	岡村敏夫	ファミリーショップおかもら	三八	橋本佳之	ファミリショップはしもと
一〇	鬼沢保平	鬼沢商店	三九	星野博光	星野京染呉服店
一一	鬼沢好紀	おにざわそば店	四〇	真家吉市	真家モーターズ
一二	鬼沢義彦	鬼沢長兵衛商店	四一	真家俊郎	大かじや金物店
一三	小野瀬正美	小野瀬農機店	四二	箕輪 潤	みのわ写真館
一四	大平兼史	珍満大飯店	四三	松本茂雄	和菓子司 ふじのや
一五	小沼保夫	小 沼 防 災	四四	持丸節男	持丸保険サービスセンター
一六	皆藤和男	皆 藤 鮮 魚 店	四五	山崎英策	山崎 ヤマデン
一七	菊地美博	ミートセンター 菊地	四六	山崎健一	クリーニング やまと
一八	木村貞夫	木村陶器店	四七	渡辺佳夫	魚 よ し
一九	君和田 孝	ススム理容所	四八	渡辺義信	かどかしや書店
二〇	熊田 進	くまたストア	四九	矢口恵司	矢口工務店
二一	栗原 修	栗原牛乳店	五〇	宮内健寿	宮内燃料店
二二	小林克己	小林 酒 店	五一	大川和美	共 伸 自動車
二三	鬼沢慶次	白帆カントリークラブ	五二	小川一彦	小川 建 築
二四	佐藤越哉	佐藤電気商店	五三	山崎 浩	山崎 商店
二五	椎木定夫	ハトヤ豆腐店			
二六	鈴木秀明	ビュティサロンガトネット			
二七	田口裕之	田口造花店			
二八	土子勇一	大名 弁 当			
二九	戸田 隆	戸田化粧品店			

## 61年度青年部活動状況

開催日	事業 内容	開催日	事業 内容
2 / 16	講習会(銚田町商業近代化計画について)	8 / 15	青年団盆踊り
3 / 12	講習会(売上げ税導入による企業の対応策)	12 / 7	銚田町民駅伝
3 / 22	ジャパニショップ	3 / 6	町執行部との懇談会
6 / 1	ハイキング(那須高原)		
6 / 18	研修視察旅行(新潟県水原町)		
7 / 8	近隣町村ソフトボール大会(大洋村営球場)		
8 / 7	七夕まつり		
10 / 18	親睦野球大会		
2 / 12	スキーツアー(福島県高杖スキー場)		

### その他の参加事業

今後は、紙面の充実とよりスピーディーな情報収集と発行を心掛けます。御協力お願いいたします。(松本)

## 編集後記

編集作業を初めて、なんと長い月日が流れた事だろう。ふと振り返ると、反省することしきりの今、広報はもつとタイムリーであるべきだ、と思っております。